

平成21年決算特別委員会 事業評価シート

会派名： 日本共産党

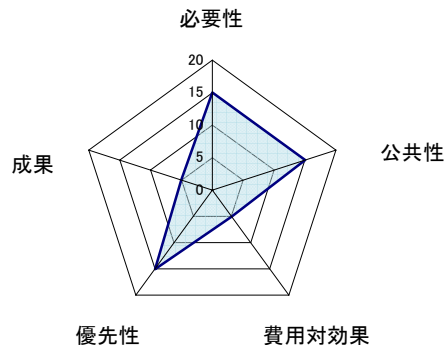
No.	予算科目	事業名	事業報告書詳細ページ
3	民生費	障がい者就労支援事業	402

1 項目別評価 (事前評価)

評価項目	評価基準 (該当右欄に○)	評価点	評価コメント (100字以内)
(1)必要性 (市民ニーズ)	①きわめて必要性が高い(20点) ②必要性が高い(15点) ③どちらかといえば必要性がある(10点) ④必要性が低い(5点) ⑤必要性がない(0点)	○ 15	就労を通じて、障害者が意識のうえでも自立でき、日々満ち足りた気持ちで暮らしをおくるうえでも必要性の高い事業である。
(2)公共性 (市が行わなければならないか)	①市が行わないといけない(20点) ②公共性が高い(15点) ③どちらかといえば市が実施(10点) ④公共性が低い(5点) ⑤公共性がない(0点)	○ 15	市民協働が必要な事業ではあるが、市の職員の意識改革が課題だろう。その後の積極的な庁内就労などを通じて職員自身が現況をよく理解、咀嚼したうえで民間に働きかけることが肝要である。
(3)費用対効果 (コストに見合った成果があるか)	①きわめて効果的である(20点) ②効果的である(15点) ③どちらかといえば効果的(10点) ④どちらかといえば非効果的(5点) ⑤非効果的である(0点)	○ 5	庁内実習がおざなりで、1回ごとに「やりました」で終わっている感が強い。事業の継続性と発展性の構築が必要。就労相談件数の目標比270%の多さと、実就職者の少なさ、工賃の底上げなど改善点は多い。
(4)優先性 (他事業に優先し実施する必要があるか)	①きわめて優先性が高い(20点) ②優先性が高い(15点) ③どちらかといえば優先性がある(10点) ④優先性が低い(5点) ⑤優先性がない(0点)	○ 15	社会参加の促進など一定の優先性がある。
(5)成果 (目標の達成状況)	①きわめて成果があがっている(20点) ②成果があがっている(15点) ③どちらかといえばあがっている(10点) ④どちらかといえばあがっていない(5点) ⑤成果はあがっていない(0点)	○ 5	当事者が満足を得るような成果はあまり出ていないのではないかと。全庁的に、また所管が主体的にリードしてしっかり取り組む姿勢に欠ける。

2 全体評価 (事前評価)

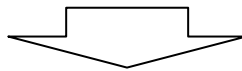
全体のバランス・事業の位置づけなど(200字以内)
市として、事業の位置づけがあいまいな感じがする。就労支援事業の報告会をふくめ「とりあえずやっています」になっていないか？精査・点検が必要である。自治体としてしっかり事業の位置づけをおこない、上記の改善を図ってほしい。まずは、職員の意識改革ではなからうか？



第1次評価レーダーチャート

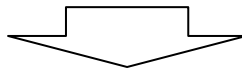
3 第1次評価 (事前評価)

評価	評価基準	合計評価点	判定理由 (150字以内)
3	5 きわめて良好である 80点以上	55	総合計は55点に達しているが、これは事業のパブリックな性格付けが点を押し上げた結果にすぎないことが、上記のレーダーチャートからも明白である。事業内容の評価は低く、改善点は山積していると言えよう。
	4 適正である 60~79点		
	3 おおむね適正である 40~59点		
	2 問題がある 20~39点		
	1 不適正である 19点以下		



4 決算審査における確認事項 (300字以内)

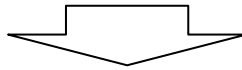
決算審査を通じて就労相談の多さ(目標の270%!)が、数度にわたる相談などによるものであることなど、当事者の希望の強さがはっきりした。こうした声にしっかり応え、数合わせではないたしかな就労の実現が必要である。そのためには、まず、千葉県においておこなわれているような庁内就労の徹底した掘り起こし、職員の意識改革が肝心である。ここがしっかりしないと、企業訪問での仕事の掘り起こしも困難なままではないか？



5 現在の社会状況等

市の財政状況・国及び都の動き・市民生活などをふまえた、改善・効率化・見直しの方向性(200字以内)

政権交代をしたばかりであり、今後の政治状況はまだ十分には見えてこない。しかし、そうしたことに関係なく、自治体として「住民福祉の向上」のためにどうするのか？ どのような施設が必要か？ ということを市は、間断なく模索し、実現すべきである。新自由主義的発想からは速やかに脱却しなければならず、市の主体的な政策実現が必要である。



6 第2次評価(修正・今後の方向性)

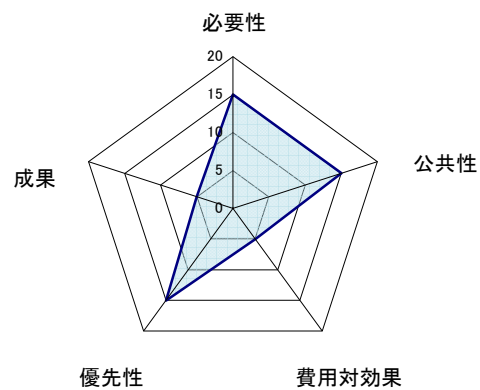
(1)項目別評価及び全体評価 ※評価基準等は、第1次評価と同じ

評価	合計評価点	(1)必要性	(2)公共性	(3)費用対効果	(4)優先性	(5)成果	全体評価(100字以内)
3	55	15	15	5	15	5	都のモデル事業だからおこなうといった消極的な取り組みでは、たしかな成果はおぼつかない。市独自にも、賃金を払う必要がある。

(2)評価コメント

評価の補足・修正理由など(300字以内)

現状は、社会的な必要性に十分応えているとは言えない。総合点の高さは、事業の社会性の高さが押し上げていたにすぎないこと、右のとおりである。就労成果が目標の7割にしか至っていないのは、当事者が望んでいる職種がなかったからということである。そこを無理強いしなかったのは評価できるが、これをきっかけにしてさらなる積極的な取り組みが望まれる。庁内就労に関しては、千葉県への視察で、担当者が「いまの倍の人数でも仕事はある」と言っていた。多摩市においてもそうした意気で、庁内の仕事を見出す努力をすべきだ。



(3)今後の方向性

評価	評価基準	判定理由(200字以内)
3	5 拡充する 4 現状のまま継続する 3 改善・効率化し継続 2 見直しのうえ縮小する 1 休止・廃止	いたづらな効率化の追求ではなく、たしかな改善をふまえての改善と充実を図ってほしい。なによりもまず当事者が就労を通じて社会的な満足、役に立っている実感を得られるように。

※特記事項(200字以内)

なし。

平成21年決算特別委員会 事業評価シート

会派名： 公明党

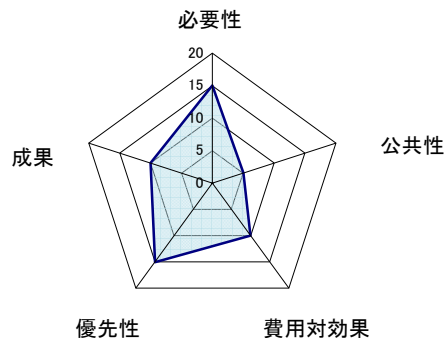
No.	予算科目	事業名	事業報告書詳細ページ
3	民生費	障がい者就労支援事業	402

1 項目別評価（事前評価）

評価項目	評価基準（該当右欄に○）	評価点	評価コメント（100字以内）
(1)必要性 （市民ニーズ）	①きわめて必要性が高い(20点) ②必要性が高い(15点) ③どちらかといえば必要性がある(10点) ④必要性が低い(5点) ⑤必要性がない(0点)	○ 15	年々障がい者の内容の多岐に渡り、多くなっています。障がいの程度にもよるが働くことの喜びを実感することは大切です。
(2)公共性 （市が行わなければならないか）	①市が行わないといけない(20点) ②公共性が高い(15点) ③どちらかといえば市が実施(10点) ④公共性が低い(5点) ⑤公共性がない(0点)	○ 5	民間の専門性が高い事業者での対応を望む。
(3)費用対効果 （コストに見合った成果があるか）	①きわめて効果的である(20点) ②効果的である(15点) ③どちらかといえば効果的(10点) ④どちらかといえば非効果的(5点) ⑤非効果的である(0点)	○ 10	
(4)優先性 （他事業に優先し実施する必要があるか）	①きわめて優先性が高い(20点) ②優先性が高い(15点) ③どちらかといえば優先性がある(10点) ④優先性が低い(5点) ⑤優先性がない(0点)	○ 15	障がい者の自立と社会参加の促進が望まれる。
(5)成果 （目標の達成状況）	①きわめて成果があがっている(20点) ②成果があがっている(15点) ③どちらかといえばあがっている(10点) ④どちらかといえばあがっていない(5点) ⑤成果はあがっていない(0点)	○ 10	

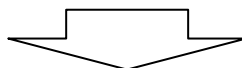
2 全体評価（事前評価）

全体のバランス・事業の位置づけなど(200字以内)
障がい者を受け入れる企業がないと厳しい。社会状況にもよるが、就労が目標に対して下回っているのが気になる。



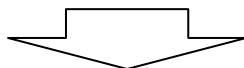
3 第1次評価（事前評価）

評価	評価基準	合計評価点	判定理由(150字以内)
3	5 きわめて良好である 80点以上	55	必要性・優先性は高いが成果が不十分。
	4 適正である 60～79点		
	3 おおむね適正である 40～59点		
	2 問題がある 20～39点		
	1 不適正である 19点以下		



4 決算審査における確認事項 (300字以内)

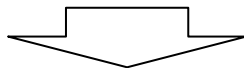
[Blank area for confirmation items]



5 現在の社会状況等

市の財政状況・国及び都の動き・市民生活などをふまえた、改善・効率化・見直しの方向性(200字以内)

[Blank area for social situation]



6 第2次評価 (修正・今後の方向性)

(1)項目別評価及び全体評価 ※評価基準等は、第1次評価と同じ

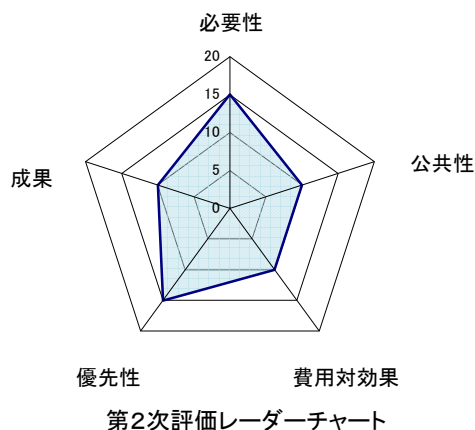
評価	合計評価点	(1)必要性	(2)公共性	(3)費用対効果	(4)優先性	(5)成果	全体評価(100字以内)
4	60	15	10	10	15	10	[Blank area for overall evaluation]

(2)評価コメント

評価の補足・修正理由など(300字以内)

公共性では、事業の内容から市もかかわることが必要と思うのでランクを上げた。

[Blank area for evaluation comments]



(3)今後の方向性

評価	評価基準	判定理由(200字以内)
4	5 拡充する 4 現状のまま継続する 3 改善・効率化し継続 2 見直しのうえ縮小する 1 休止・廃止	新規事業のため、今後の実績に期待する。

※特記事項(200字以内)

[Blank area for special notes]

平成21年決算特別委員会 事業評価シート

会派名： 多摩市議会自由民主党

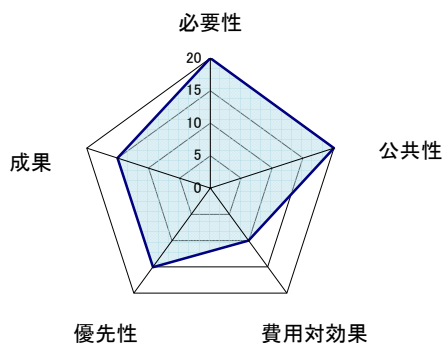
No.	予算科目	事業名	事業報告書詳細ページ
3	民生費	障がい者就労支援事業	402

1 項目別評価（事前評価）

評価項目	評価基準（該当右欄に○）	評価点	評価コメント（100字以内）
(1)必要性 (市民ニーズ)	①きわめて必要性が高い(20点) ②必要性が高い(15点) ③どちらかといえば必要性がある(10点) ④必要性が低い(5点) ⑤必要性がない(0点)	○ 20	
(2)公共性 (市が行わなければならないか)	①市が行わないといけない(20点) ②公共性が高い(15点) ③どちらかといえば市が実施(10点) ④公共性が低い(5点) ⑤公共性がない(0点)	○ 20	行政がリードしてこの事業を安定化させ、民間に拡大する流れは理想といえる。その意味でも行政の更なる努力を望む。
(3)費用対効果 (コストに見合った成果があるか)	①きわめて効果的である(20点) ②効果的である(15点) ③どちらかといえば効果的(10点) ④どちらかといえば非効果的(5点) ⑤非効果的である(0点)	○ 10	
(4)優先性 (他事業に優先し実施する必要があるか)	①きわめて優先性が高い(20点) ②優先性が高い(15点) ③どちらかといえば優先性がある(10点) ④優先性が低い(5点) ⑤優先性がない(0点)	○ 15	
(5)成果 (目標の達成状況)	①きわめて成果があがっている(20点) ②成果があがっている(15点) ③どちらかといえばあがっている(10点) ④どちらかといえばあがっていない(5点) ⑤成果はあがっていない(0点)	○ 15	

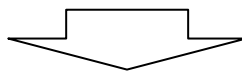
2 全体評価（事前評価）

全体のバランス・事業の位置づけなど(200字以内)
 形骸化された事業になっていないか、今一度検証する時期でもあると考える。また、市内企業の応援もこの事業の拡大に欠かせない要因である。市は積極的な対策をすべき。

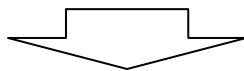


3 第1次評価（事前評価）

評価	評価基準	合計評価点	判定理由(150字以内)
5	5 きわめて良好である 80点以上	80	
	4 適正である 60～79点		
	3 おおむね適正である 40～59点		
	2 問題がある 20～39点		
	1 不適正である 19点以下		

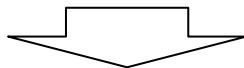


4 決算審査における確認事項 (300字以内)



5 現在の社会状況等

市の財政状況・国及び都の動き・市民生活などをふまえた、改善・効率化・見直しの方向性(200字以内)



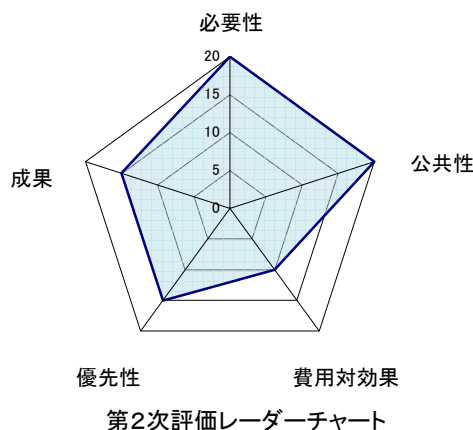
6 第2次評価 (修正・今後の方向性)

(1) 項目別評価及び全体評価 ※評価基準等は、第1次評価と同じ

評価	合計評価点	(1) 必要性	(2) 公共性	(3) 費用対効果	(4) 優先性	(5) 成果	全体評価(100字以内)
5	80	20	20	10	15	15	

(2) 評価コメント

評価の補足・修正理由など(300字以内)



(3) 今後の方向性

評価	評価基準	判定理由(200字以内)
5	5 拡充する 4 現状のまま継続する 3 改善・効率化し継続 2 見直しのうえ縮小する 1 休止・廃止	障がい者の就労には事業所の理解を得ることこそ重要である。今年度から実施される地域開拓促進コーディネーターの働きに期待する。

※特記事項(200字以内)

平成21年決算特別委員会 事業評価シート

会派名： 改革ゆいの会

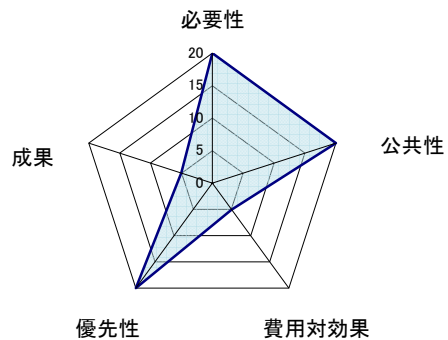
No.	予算科目	事業名	事業報告書詳細ページ
3	民生費	障がい者就労支援事業	402

1 項目別評価（事前評価）

評価項目	評価基準（該当右欄に○）	評価点	評価コメント（100字以内）
(1)必要性 (市民ニーズ)	①きわめて必要性が高い(20点) ②必要性が高い(15点) ③どちらかといえば必要性がある(10点) ④必要性が低い(5点) ⑤必要性がない(0点)	○ 20	今後、益々必要性は高くなる。
(2)公共性 (市が行わなければならないか)	①市が行わないといけない(20点) ②公共性が高い(15点) ③どちらかといえば市が実施(10点) ④公共性が低い(5点) ⑤公共性がない(0点)	○ 20	市が積極的に公共事業として、行なうべきだ。将来的にも果たすべき市の責任は重いはず。
(3)費用対効果 (コストに見合った成果があるか)	①きわめて効果的である(20点) ②効果的である(15点) ③どちらかといえば効果的(10点) ④どちらかといえば非効果的(5点) ⑤非効果的である(0点)	 ○ 5	コストのみを重視するべきではないかと考える。就労が社会参加であるから。
(4)優先性 (他事業に優先し実施する必要があるか)	①きわめて優先性が高い(20点) ②優先性が高い(15点) ③どちらかといえば優先性がある(10点) ④優先性が低い(5点) ⑤優先性がない(0点)	○ 20	これまでの市の取り組みは、極めて消極的であった。プロジェクトチームをつくり対応すべきである。
(5)成果 (目標の達成状況)	①きわめて成果があがっている(20点) ②成果があがっている(15点) ③どちらかといえばあがっている(10点) ④どちらかといえばあがっていない(5点) ⑤成果はあがっていない(0点)	 ○ 5	市の取り組みが弱い。

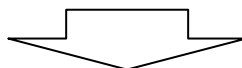
2 全体評価（事前評価）

全体のバランス・事業の位置づけなど(200字以内)
 これまでの市の対応について際立ったものが無く、今後の課題である。



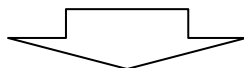
3 第1次評価（事前評価）

評価	評価基準	合計評価点	判定理由（150字以内）
4	5 きわめて良好である 80点以上	70	総合的に判断した。
	4 適正である 60～79点		
	3 おおむね適正である 40～59点		
	2 問題がある 20～39点		
	1 不適正である 19点以下		



4 決算審査における確認事項 (300字以内)

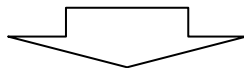
[Blank area for confirmation items]



5 現在の社会状況等

市の財政状況・国及び都の動き・市民生活などをふまえた、改善・効率化・見直しの方向性(200字以内)

[Blank area for social situation]



6 第2次評価 (修正・今後の方向性)

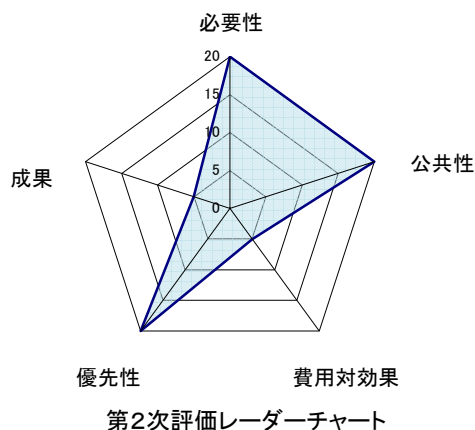
(1) 項目別評価及び全体評価 ※評価基準等は、第1次評価と同じ

評価	合計評価点	(1) 必要性	(2) 公共性	(3) 費用対効果	(4) 優先性	(5) 成果	全体評価(100字以内)
4	70	20	20	5	20	5	再度、総合的に判断した。

(2) 評価コメント

評価の補足・修正理由など(300字以内)

[Blank area for evaluation comments]



(3) 今後の方向性

評価	評価基準	判定理由(200字以内)
3	5 拡充する 4 現状のまま継続する 3 改善・効率化し継続 2 見直しのうえ縮小する 1 休止・廃止	総合的に判断した。

※特記事項(200字以内)

[Blank area for special notes]

平成21年決算特別委員会 事業評価シート

会派名：生活者ネット・無所属の会

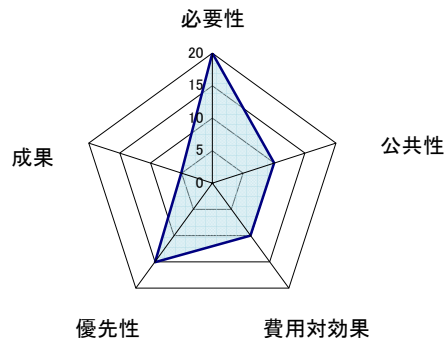
No.	予算科目	事業名	事業報告書詳細ページ
3	民生費	障がい者就労支援事業	402

1 項目別評価（事前評価）

評価項目	評価基準（該当右欄に○）	評価点	評価コメント（100字以内）
(1)必要性 (市民ニーズ)	①きわめて必要性が高い(20点) ②必要性が高い(15点) ③どちらかといえば必要性がある(10点) ④必要性が低い(5点) ⑤必要性がない(0点)	○ 20	働くことを通じ自分が社会に参加していることを実感できる。また当事者を中心とした就労支援のケーススタディーを蓄積することは、障がい者の自立を支える社会の実現につながる。当事者と家族だけでは無理。
(2)公共性 (市が行わなければならないか)	①市が行わないといけない(20点) ②公共性が高い(15点) ③どちらかといえば市が実施(10点) ④公共性が低い(5点) ⑤公共性がない(0点)	○ 10	市というより、シルバー人材センターのような団体設置を国がすべき。
(3)費用対効果 (コストに見合った成果があるか)	①きわめて効果的である(20点) ②効果的である(15点) ③どちらかといえば効果的(10点) ④どちらかといえば非効果的(5点) ⑤非効果的である(0点)	○ 10	掘り起こし、就労、定着、生活支援、離職、離職後までの一連の流れの、どこに何の人手が足りないのか、どこと連携することで発展できるか等、点検・再検討を次につなぐことで、さらに費用対効果は上げると思う。
(4)優先性 (他事業に優先し実施する必要があるか)	①きわめて優先性が高い(20点) ②優先性が高い(15点) ③どちらかといえば優先性がある(10点) ④優先性が低い(5点) ⑤優先性がない(0点)	○ 15	当事者、家族、特別支援学校ほか市民ニーズが極めて高い。
(5)成果 (目標の達成状況)	①きわめて成果があがっている(20点) ②成果があがっている(15点) ③どちらかといえばあがっている(10点) ④どちらかといえばあがっていない(5点) ⑤成果はあがっていない(0点)	○ 5	市役所窓口での出張相談によって相談件数は増えたことは、事業周知の成果。職域開拓、職場開拓に関しては、他の部署との連携なしには難しいと感じる。

2 全体評価（事前評価）

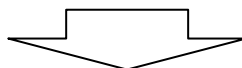
全体のバランス・事業の位置づけなど(200字以内)
ニーズは高いが、一般就労を急ぐことなく、当事者の主体的な自立につながるよう、着実に進めるべき事業。実際に職場に出る前の実習の場の確保(市役所)は、多少協・特別支援学校の積年の要望。市役所は昨年、既にモデル事業を実施、ノウハウを持っているはず。他の部署との連携はじめ、協力することによって成果は大きく変わる。



第1次評価レーダーチャート

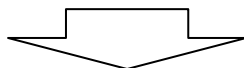
3 第1次評価（事前評価）

評価	評価基準	合計評価点	判定理由(150字以内)
4	5 きわめて良好である 80点以上	60	上記を総合して。
	4 適正である 60～79点		
	3 おおむね適正である 40～59点		
	2 問題がある 20～39点		
	1 不適正である 19点以下		



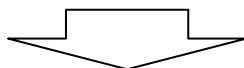
4 決算審査における確認事項 (300字以内)

発達障がい者支援開発事業により、庁内での各部署からのしごとの切り出しは既に行われたとのこと。経営会議での情報共有はなされているが、市民全体への啓発、市内事業者への働きかけ、庁内での障がい者の就労環境の検討など、各部署横断的な市としての取り組みに至っていない。就労支援では、就労相談1968件に対し、自分にマッチした職に就けた人は14人。数字で事業評価することは難しい。



5 現在の社会状況等

市の財政状況・国及び都の動き・市民生活などをふまえた、改善・効率化・見直しの方向性(200字以内)
新政権による自立支援法見直しは、未だスケジュール不明。就労だけを切り離しての施策でなく、生活支援や各障がいへの理解をひろげるなど、総合的に進むものと期待する。



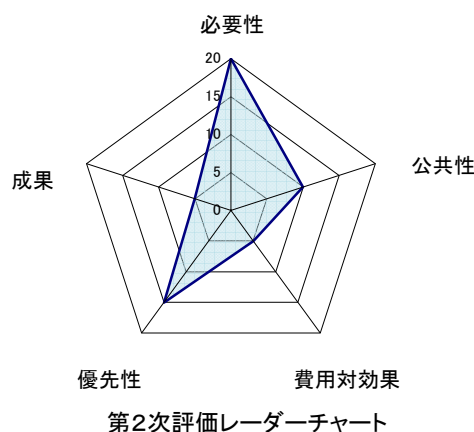
6 第2次評価(修正・今後の方向性)

(1)項目別評価及び全体評価 ※評価基準等は、第1次評価と同じ

評価	合計評価点	(1)必要性	(2)公共性	(3)費用対効果	(4)優先性	(5)成果	全体評価(100字以内)
3	55	20	10	5	15	5	前厚生産業常任委員会からの所管事務調査に基づく提言は今もって活かされていない。重く受け止めるべきと考えるが。

(2)評価コメント

評価の補足・修正理由など(300字以内)



(3)今後の方向性

評価	評価基準	判定理由(200字以内)
3	5 拡充する 4 現状のまま継続する 3 改善・効率化し継続 2 見直しのうえ縮小する 1 休止・廃止	委託先の多少協によって、職場開拓や就労準備、職場定着事業など少しずつ進んでいることは評価できる。前提として市が行うべき障がい者理解や機会平等などがなされているとは言い難い。

※特記事項(200字以内)

直近に行われた市の採用試験(9月)では、文字の拡大や口頭による試験の検討もなされたとのこと。受験機会の平等をさらに進めてほしい。

平成21年決算特別委員会 事業評価シート

会派名： 民主党TAMA

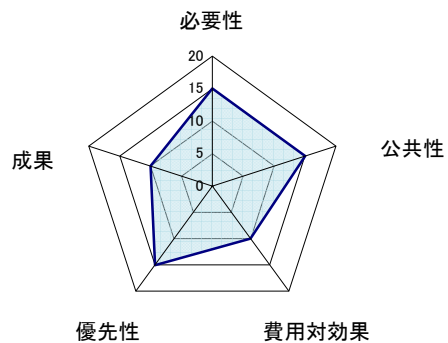
No.	予算科目	事業名	事業報告書詳細ページ
3	民生費	障がい者就労支援事業	402

1 項目別評価（事前評価）

評価項目	評価基準（該当右欄に○）	評価点	評価コメント（100字以内）
(1)必要性 （市民ニーズ）	①きわめて必要性が高い(20点) ②必要性が高い(15点) ③どちらかといえば必要性がある(10点) ④必要性が低い(5点) ⑤必要性がない(0点)	○ 15	働く希望を持っていても、なかなか就労に結びつかない現状から、就労機会の拡大と就労後のサポートは必要である。
(2)公共性 （市が行わなければならないか）	①市が行わないといけない(20点) ②公共性が高い(15点) ③どちらかといえば市が実施(10点) ④公共性が低い(5点) ⑤公共性がない(0点)	○ 15	
(3)費用対効果 （コストに見合った成果があるか）	①きわめて効果的である(20点) ②効果的である(15点) ③どちらかといえば効果的(10点) ④どちらかといえば非効果的(5点) ⑤非効果的である(0点)	○ 10	
(4)優先性 （他事業に優先し実施する必要があるか）	①きわめて優先性が高い(20点) ②優先性が高い(15点) ③どちらかといえば優先性がある(10点) ④優先性が低い(5点) ⑤優先性がない(0点)	○ 15	だれにとっても働き、学び、暮らす権利を保障することは、優先順位の高い政策分野である。
(5)成果 （目標の達成状況）	①きわめて成果があがっている(20点) ②成果があがっている(15点) ③どちらかといえばあがっている(10点) ④どちらかといえばあがっていない(5点) ⑤成果はあがっていない(0点)	○ 10	徐々に就労に結びつく例はあるものの、障害者の自立と社会参加はまだまだ不十分である。

2 全体評価（事前評価）

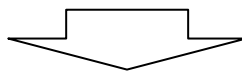
全体のバランス・事業の位置づけなど(200字以内)



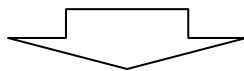
第1次評価レーダーチャート

3 第1次評価（事前評価）

評価	評価基準	合計評価点	判定理由(150字以内)
4	5 きわめて良好である 80点以上	65	
	4 適正である 60～79点		
	3 おおむね適正である 40～59点		
	2 問題がある 20～39点		
	1 不適正である 19点以下		

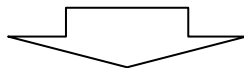


4 決算審査における確認事項 (300字以内)



5 現在の社会状況等

市の財政状況・国及び都の動き・市民生活などをふまえた、改善・効率化・見直しの方向性(200字以内)



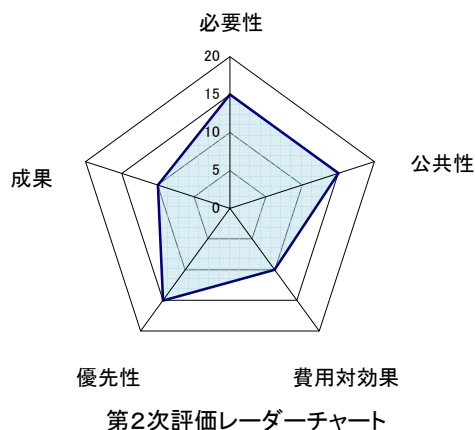
6 第2次評価 (修正・今後の方向性)

(1)項目別評価及び全体評価 ※評価基準等は、第1次評価と同じ

評価	合計評価点	(1)必要性	(2)公共性	(3)費用対効果	(4)優先性	(5)成果	全体評価(100字以内)
4	65	15	15	10	15	10	

(2)評価コメント

評価の補足・修正理由など(300字以内)



(3)今後の方向性

評価	評価基準	判定理由(200字以内)
4	5 拡充する 4 現状のまま継続する 3 改善・効率化し継続 2 見直しのうえ縮小する 1 休止・廃止	

※特記事項(200字以内)

平成21年決算特別委員会 事業評価シート

会派名： あおぞら

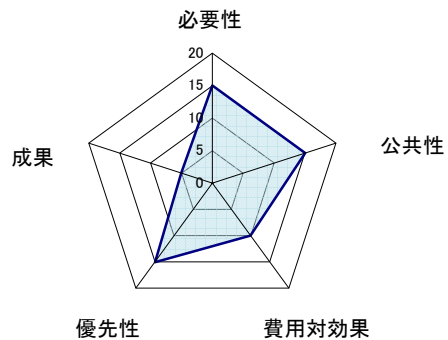
No.	予算科目	事業名	事業報告書詳細ページ
3	民生費	障がい者就労支援事業	402

1 項目別評価（事前評価）

評価項目	評価基準（該当右欄に○）	評価点	評価コメント（100字以内）
(1)必要性 (市民ニーズ)	①きわめて必要性が高い(20点) ②必要性が高い(15点) ③どちらかといえば必要性がある(10点) ④必要性が低い(5点) ⑤必要性がない(0点)	○ 15	地域住民の多様な社会福祉へのニーズに対応するためには、これからの事業の課題も増えていくと思う。
(2)公共性 (市が行わなければならないか)	①市が行わないといけない(20点) ②公共性が高い(15点) ③どちらかといえば市が実施(10点) ④公共性が低い(5点) ⑤公共性がない(0点)	○ 15	行政の責任できめ細かい内容の充実を図り、安心して生活できる事が大切であると思う。
(3)費用対効果 (コストに見合った成果があるか)	①きわめて効果的である(20点) ②効果的である(15点) ③どちらかといえば効果的(10点) ④どちらかといえば非効果的(5点) ⑤非効果的である(0点)	○ 10	事業内容と実際の就職者数とのバランスを見直す事も必要と思われる。
(4)優先性 (他事業に優先し実施する必要があるか)	①きわめて優先性が高い(20点) ②優先性が高い(15点) ③どちらかといえば優先性がある(10点) ④優先性が低い(5点) ⑤優先性がない(0点)	○ 15	障害者の就労支援は、厳しい経済状況の中では、優先性は高い。
(5)成果 (目標の達成状況)	①きわめて成果があがっている(20点) ②成果があがっている(15点) ③どちらかといえばあがっている(10点) ④どちらかといえばあがっていない(5点) ⑤成果はあがっていない(0点)	○ 5	就労相談による就職者数が少ない。

2 全体評価（事前評価）

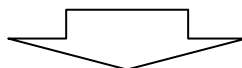
全体のバランス・事業の位置づけなど(200字以内)
障害者の自立と社会参加の促進のためには、必要な事業と考えるが、費用対効果の点では、成果はみられない。



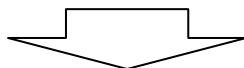
第1次評価レーダーチャート

3 第1次評価（事前評価）

評価	評価基準	合計評価点	判定理由（150字以内）
4	5 きわめて良好である 80点以上	60	必要性、公共性、優先性の評価点が高いので 評価4になりましたが、決して適正であるという評価には適さないと思う。
	4 適正である 60～79点		
	3 おおむね適正である 40～59点		
	2 問題がある 20～39点		
	1 不適正である 19点以下		

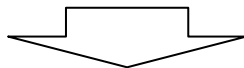


4 決算審査における確認事項 (300字以内)



5 現在の社会状況等

市の財政状況・国及び都の動き・市民生活などをふまえた、改善・効率化・見直しの方向性(200字以内)



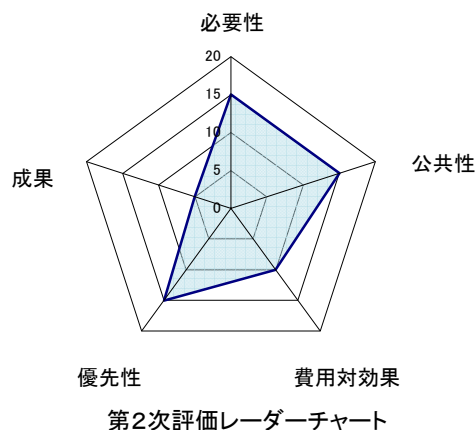
6 第2次評価 (修正・今後の方向性)

(1) 項目別評価及び全体評価 ※評価基準等は、第1次評価と同じ

評価	合計評価点	(1)必要性	(2)公共性	(3)費用対効果	(4)優先性	(5)成果	全体評価(100字以内)
4	60	15	15	10	15	5	

(2) 評価コメント

評価の補足・修正理由など(300字以内)



(3) 今後の方向性

評価	評価基準	判定理由(200字以内)
3	5 拡充する 4 現状のまま継続する 3 改善・効率化し継続 2 見直しのうえ縮小する 1 休止・廃止	

※特記事項(200字以内)

平成21年決算特別委員会 事業評価シート

会派名： 日月会

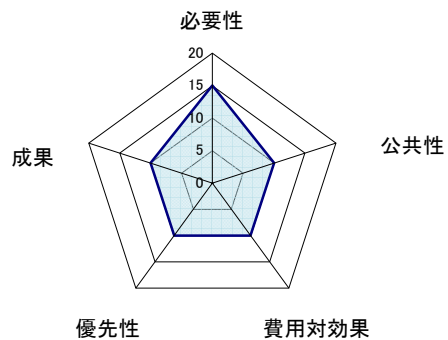
No.	予算科目	事業名	事業報告書詳細ページ
3	民生費	障がい者就労支援事業	402

1 項目別評価（事前評価）

評価項目	評価基準（該当右欄に○）	評価点	評価コメント（100字以内）
(1)必要性 （市民ニーズ）	①きわめて必要性が高い(20点) ②必要性が高い(15点) ③どちらかといえば必要性がある(10点) ④必要性が低い(5点) ⑤必要性がない(0点)	○ 15	
(2)公共性 （市が行わなければならないか）	①市が行わないといけない(20点) ②公共性が高い(15点) ③どちらかといえば市が実施(10点) ④公共性が低い(5点) ⑤公共性がない(0点)	○ 10	
(3)費用対効果 （コストに見合った成果があるか）	①きわめて効果的である(20点) ②効果的である(15点) ③どちらかといえば効果的(10点) ④どちらかといえば非効果的(5点) ⑤非効果的である(0点)	○ 10	
(4)優先性 （他事業に優先し実施する必要があるか）	①きわめて優先性が高い(20点) ②優先性が高い(15点) ③どちらかといえば優先性がある(10点) ④優先性が低い(5点) ⑤優先性がない(0点)	○ 10	
(5)成果 （目標の達成状況）	①きわめて成果があがっている(20点) ②成果があがっている(15点) ③どちらかといえばあがっている(10点) ④どちらかといえばあがっていない(5点) ⑤成果はあがっていない(0点)	○ 10	

2 全体評価（事前評価）

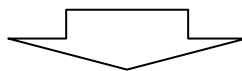
全体のバランス・事業の位置づけなど(200字以内)



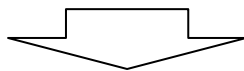
第1次評価レーダーチャート

3 第1次評価（事前評価）

評価	評価基準	合計評価点	判定理由(150字以内)
3	5 きわめて良好である 80点以上	55	
	4 適正である 60～79点		
	3 おおむね適正である 40～59点		
	2 問題がある 20～39点		
	1 不適正である 19点以下		

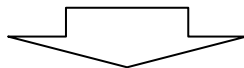


4 決算審査における確認事項 (300字以内)



5 現在の社会状況等

市の財政状況・国及び都の動き・市民生活などをふまえた、改善・効率化・見直しの方向性(200字以内)



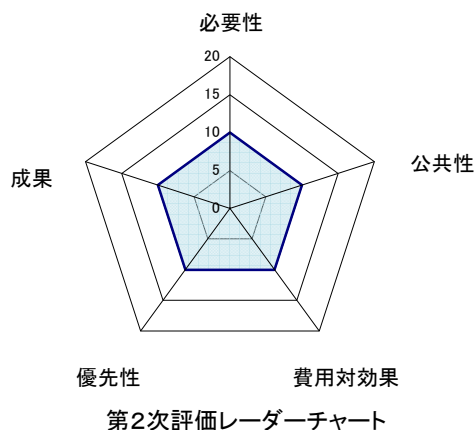
6 第2次評価 (修正・今後の方向性)

(1) 項目別評価及び全体評価 ※評価基準等は、第1次評価と同じ

評価	合計評価点	(1) 必要性	(2) 公共性	(3) 費用対効果	(4) 優先性	(5) 成果	全体評価(100字以内)
3	50	10	10	10	10	10	取組状況は、相談件数の伸びから評価できるが、更に、就労結果に結びつけてもらいたい。

(2) 評価コメント

評価の補足・修正理由など(300字以内)



(3) 今後の方向性

評価	評価基準	判定理由(200字以内)
3	5 拡充する 4 現状のまま継続する 3 改善・効率化し継続 2 見直しのうえ縮小する 1 休止・廃止	障がい者の一般就労の機会を拡大するとともに、町内での仕事を、昨年の実績は内容は大きくでるのか。障がい者の自立と社会参加の一層の促進を図ること。

※特記事項(200字以内)